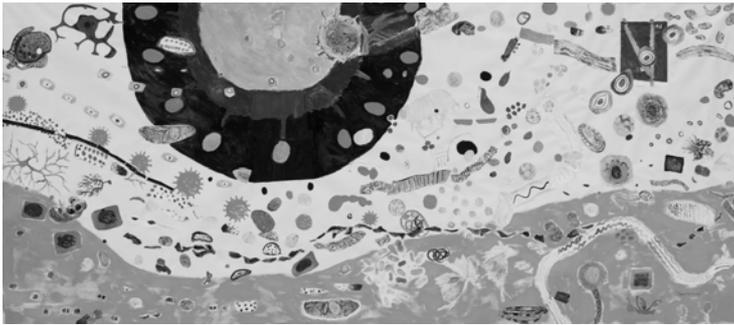


越える ←→ 引く 境界を

本企画展は、東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「多文化共生・統合人間学プログラム (IHS)」教育プロジェクト3「科学技術と共生社会」で主催した「顕微鏡絵画ワークショップ」の成果を中心としながら、共生社会における科学技術のあり方を、来場者と共に考えることを目指す、思索展です。



「このいぼり」展示風景 2012 島根県立美術館ギャラリー

顕微鏡絵画ワークショップについて

「顕微鏡絵画ワークショップ」は、画家の池平徹兵氏をインストラクターとして、生物学で用いられる顕微鏡画像をもとに、多様な身体的、文化的背景を持つ人々が共に1つの絵画を製作する、というアート活動です。IHS プロジェクト3では、これまでに、社会福祉法人藍「藍工房」(東京都世田谷区)及び社会福祉法人「べてるの家」(北海道浦河町)で、2度のワークショップを主催しました。池平氏はこれら以外にも、同様のワークショップを数回に渡って実施されています。このワークショップを通じて表されるのは、科学が生み出してきた「境界線」です。顕微鏡絵画ワークショップでは、顕微鏡から生み出された画像を、科学の発展に基づく近代以降の社会で、様々な事象について不鮮明であった「境界」が明確にされてきたことを象徴するメタファーとして捉えています。そして、多様な身体を持つ人々が、顕微鏡の画像を共に見て、描き、1つの作品を作るという営みを通して、健常と障害、男女など、人の間に引かれた様々な「境界線」を、再び混沌とした環境において問い直すことを表現しています。顕微鏡絵画ワークショップは、企画展の会期中にも、数回開催する予定です。みなさんのご参加をお待ちしています。

協力アーティスト

顕微鏡絵画ワークショップ・インストラクター：池平徹兵氏

画家 OFFICE BACTERIA 代表

1978年福岡県生まれ。2013年 第16回岡本太郎現代芸術賞展入選。現在、個人での制作活動に加えて、一般社団法人アーツライブと共にワークショップによる絵画制作を势力的に行っている。また、フランスを拠点とするブリアンデ・カナエと共に OFFICE BACTERIA 名義でバクテリアをモチーフにしたアクセサリーを制作するデザイナーとしても活動している。



お問い合わせ先 東京大学 駒場博物館
 住所：153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
 Tel: 03-5454-6139 Fax: 03-5454-4929
 ホームページ：http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/